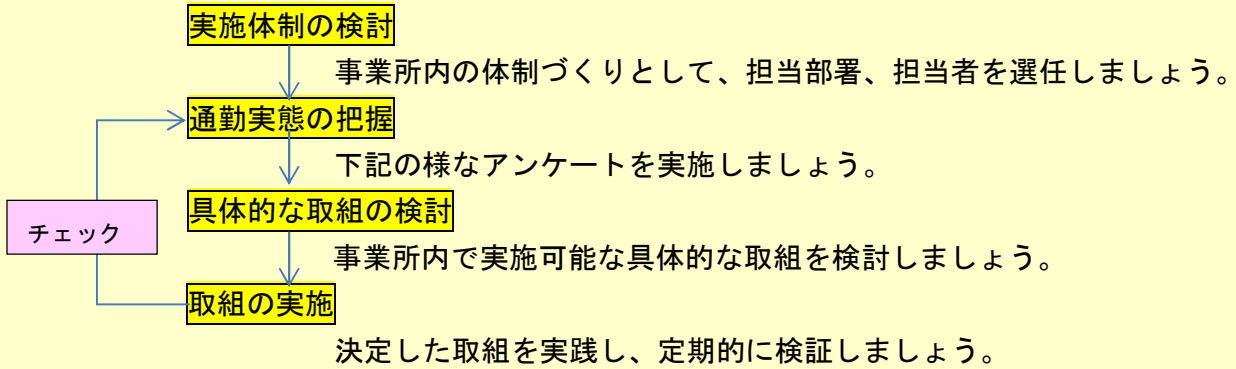


取組み事例の紹介

エコ通勤取組の手順

エコ通勤を持続的に進めるためには、下記の様な手順で取組を進め、定期的にその成果を検証していくことが重要です。



エコ通勤の具体的な取組

○ コミュニケーションアンケートの実施

エコ通勤を実施するためには、まず、「通勤実態」を把握することが重要です。なお、この調査を行う際には、「公共交通の情報提供」を行うと共に、調査項目に自分自身の通勤を振り返るための設問を追加することで、エコ通勤への転換を促すきっかけとすることが出来ます。

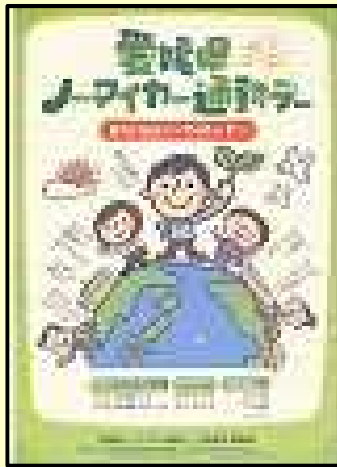
下記の様なアンケートを参考として下さい。

| 調査票 (回収用) | 調査票 (回収用) |
|--|--|
| <p>問1 別任、どの交通機関を、どれくらい利用して、通勤していますか？ 記入例を参考に①～⑥の交通機関すべてについて、ご回答ください。</p> <p>記入例 月 3 日 通勤している 週 5 回 通勤している 通勤していない</p> <p>① 鉄道 + バス をつかって、月 3 日 通勤している 週 5 回 通勤している 通勤していない</p> <p>② クルマ(運転) だけをつかって、月 3 日 通勤している 週 5 回 通勤している 通勤していない</p> <p>③ クルマ(同乗) をつかって、月 3 日 通勤している 週 5 回 通勤している 通勤していない</p> <p>④ バイク だけをつかって、月 3 日 通勤している 週 5 回 通勤している 通勤していない</p> <p>⑤ 自転車 だけをつかって、月 3 日 通勤している 週 5 回 通勤している 通勤していない</p> <p>⑥ 徒歩 だけで、月 3 日 通勤している 週 5 回 通勤している 通勤していない</p> <p>問2 「エコ通勤」運動は、同封の冊子のような考え方で、国民の皆様にも、「エコ通勤」を呼びかけるものです。この冊子について、以下の問いにお答えください。</p> <p>① この冊子を読む前から、国土交通省が進める「エコ通勤」運動をご存じでしたか？ <input type="checkbox"/> まったく知らなかった <input type="checkbox"/> 名前だけは知っていた <input type="checkbox"/> よく知っている</p> <p>② 「クルマ利用」とCO₂のページ(2頁)について、内容をご存じでしたか？ <input type="checkbox"/> まったく知らなかった <input type="checkbox"/> 何となく知っていた <input type="checkbox"/> よく知っている</p> <p>③ 「クルマ利用を、少し、減らすだけで…」のページ(3頁)について、内容をご存じでしたか？ <input type="checkbox"/> まったく知らなかった <input type="checkbox"/> 何となく知っていた <input type="checkbox"/> よく知っている</p> <p>④ この冊子をお読みいただいて「エコ通勤」運動の趣旨はご理解いただけましたか？ <input type="checkbox"/> 分からない <input type="checkbox"/> 何となく分かった <input type="checkbox"/> よく分かった</p> | <p>問3 地球温暖化対策のためには、クルマ利用はできるだけ減らした方がいいと思いますか？ <input type="checkbox"/> 全く思わない <input type="checkbox"/> 少し思う <input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> とても思う</p> <p>問4 クルマを少しでも利用して通勤されている方にお伺いします (利用していない方は、終了になります)</p> <p>① クルマの代わりに、「徒歩」や「自転車」で通勤することは可能ですか？ <input type="checkbox"/> 絶対に無理 <input type="checkbox"/> 無理ではないが、難しい <input type="checkbox"/> できる</p> <p>② クルマの代わりに、「電車」や「バス」で通勤することは可能ですか？ <input type="checkbox"/> 絶対に無理 <input type="checkbox"/> 無理ではないが、難しい <input type="checkbox"/> できる</p> <p>③ 「エコ通勤」を「少しでも」実践してみようと思いますか？ <input type="checkbox"/> 全く思わない <input type="checkbox"/> 少し思う <input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> とても思う</p> <p>→ 選れ入ります。理由をお聞かせいただけますか？ <input type="text" value="理由を記入ください"/> (ご記入後、アンケート調査は終了になります)</p> <p>問5 もし、「エコ通勤」をしたら、どのようにしてみようと思いますか？ 以下の記入例にならって、あなたの「エコ通勤」のイメージをお書きください。</p> <p><記入例> ・自転車に乗るので、通勤時に自転車でも通勤することもできる。 ・30分程度で済む。タクシーでも、電車・バスと同様に安く、それで済むようにする。 ・歩けば、お金も掛からない。自転車でも通勤して、それで済むようにする。 ・通勤先が近ければ、「徒歩」も検討して、バス・電車も検討する。</p> <p>問6 問5でお書きいただいた「エコ通勤」は、実際にできそうですか？ <input type="checkbox"/> 無理 <input type="checkbox"/> 多分、できる <input type="checkbox"/> できる</p> <p>ご協力、ありがとうございました。 是非これを機会に、できる範囲で、 「エコ通勤」にお取り組みいただければ幸いです。</p> |

(出典：国土交通省エコ通勤ポータルサイト)

○ チラシ・パンフレットの配布

チラシ・ポスター等の配布や、社内の掲示板やメールでの呼びかけをしましょう。



○ 時刻表・路線図等の配布

エコ通勤を推進するために、最寄りの鉄道やバスなどの公共交通の情報を提供しましょう。



(出典：宇治地域通勤マップ)

○ 研修会の実施

職場での会議や連絡会等を利用して、エコ通勤に関する情報を提供することも効果を発揮します。



○ マイカー通勤の禁止等

特別な事情を除いて、就業規則等で自動車通勤を原則禁止、あるいは駐車場を有料化している例があります。

〇〇株式会社就業規則

第〇条（通勤手当の支給）

通勤費は、住居から会社までの距離が2 km以上あり、公共交通機関を利用して通勤する場合に支給する。

2 会社が認める最寄り駅間で、最も所要時間が短い経路で計算し、所得税法に定める通勤手当の非課税範囲内とする。

第〇条（マイカー通勤の許可）

次のいずれかに該当する場合は、私有車による通勤を認める。

- (1) 身体に障害を有しており、公共交通機関による通勤が困難な場合。
- (2) 公共交通機関による通勤時間が2時間分以上、且つ私有車の利用により通勤時間が30分以上短縮できる場合。
- (3) 自宅・会社間の距離が2 km以上あり、公共交通機関がない場合。また、自宅あるいは会社から公共交通機関の最寄り駅までの距離が2 km以上の場合。

駐車場使用規定

第1条（目的）

この規定は〇〇株式会社〇〇工場の駐車場使用について定める。

第2条（位置）

駐車場の位置は以下に定める場所とする。

- (1) 総務部が指定した場所。
- (2) 各部署が申請し総務部が認めた場所。

第3条（使用者）

駐車場を利用できる者は、以下とする。

- (1) 当工場勤務者で、自宅からの通勤距離が2 km以上の者。
- (2) 特別な理由等で、所属長がマイカー通勤を認めた者。
- (3) 関係会社社員等で、総務部が許可した者。

第4条（使用許可）

駐車場使用許可証は、使用者が所定の書式で所属長に提出し、総務部が審査し許可証を発行する。

これ以外に、相乗り、時差出勤の推奨や、徒歩通勤者・自転車通勤者への通勤手当の支給、在宅勤務制度の導入などの例もあります。

○ 駐輪場の設置

自転車、スクーター等の駐輪場を整備することも、エコ通勤の推進に繋がります。



○ 更衣室・シャワールーム等の設置

更衣室やシャワールームを整備することが、徒歩通勤者、自転車通勤者等の快適性の向上となります。



○ 通勤バスの運営

自社所有のバスによる送迎や、バス事業者への通勤バス運行委託なども行われています。

